

DRUG INFORMATION

Vol.5

目次

◇レボフロキサシンと金属カチオン含有製剤の同時内服回避の案内

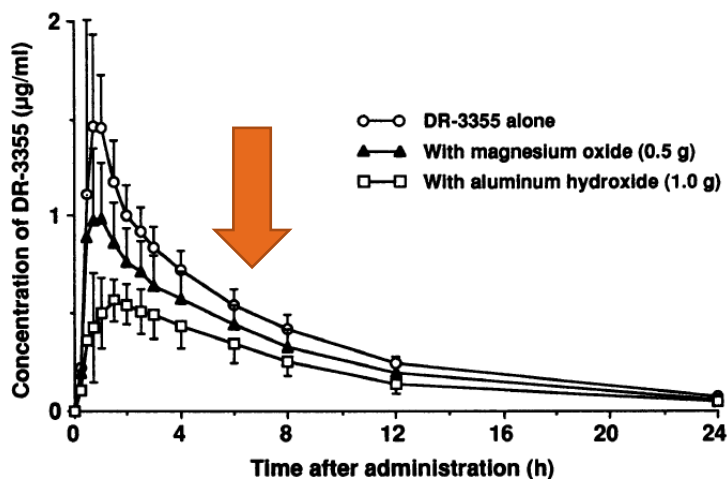
レボフロキサシン処方時、処方箋に「金属カチオン含有製剤内服時は2時間以上あける」と印字されるように設定しました！

レボフロキサシンと金属カチオン含有製剤の同時内服回避の案内

レボフロキサシンと金属カチオン含有製剤を同時に内服すると、レボフロキサシンの吸収が低下し、血中濃度が低下することが文献報告にて示唆されている。キレートを形成して吸収が低下するためと考えられている。

○レボフロキサシンの C_{max} 、AUC 低下割合

- ・アルミニウムとの同時内服・・・ C_{max} 約 65%の低下、AUC 約 44%の低下
- ・マグネシウムとの同時内服・・・ C_{max} 約 38%の低下、AUC 約 22%の低下
- ・鉄との同時内服・・・ C_{max} 約 45%の低下、AUC 約 19%の低下



○当院の現状

2019年7月から9月までにレボフロキサシンが処方された入院患者130名のうち、金属カチオン含有製剤併用患者は21名(16%)であった。(内訳 マグネシウム製剤との併用19名、鉄剤との併用2名)

○金属カチオン含有製剤併用時の内服タイミングについて

金属カチオン含有製剤と併用する場合は、レボフロキサシンの服用時間を前後2時間以上あける必要がある。

(資料によっては金属カチオン内服後4時間以上あけるとのこと。)

○薬剤部の方針

レボフロキサシン処方時に、処方箋に「金属カチオン含有製剤内服時は 2 時間以上あける」と印字されるように設定。

入院患者においては、同時内服のおそれがある場合は薬剤師が処方箋を代行修正し、レボフロキサシンの内服時間をずらす。

○金属カチオン含有製剤との併用により影響を受けやすい薬剤

ニューキノロン系抗生剤（レボフロキサシンなど）	×	Ca、Mg、Fe、Al
テトラサイクリン系抗生剤（ミノサイクリンなど）	×	Ca、Mg、Fe、Al
セフェム系抗生剤（セフジニル）	×	Mg、Fe、Al
プロトンポンプ阻害薬（ランソプラゾールなど）	×	Mg、Al
甲状腺ホルモン剤（レボチロキシンなど）	×	Fe、Al
ジギタリス製剤（ジゴキシンなど）	×	Mg、Al
利胆剤（ウルソデオキシコール酸など）	×	Al
抗パーキンソン薬（レボドパなど）	×	Fe
HMG-CoA 還元酵素阻害剤（ロスバスタチン）	×	Mg
抗ヒスタミン薬（フェキソフェナジン）	×	Mg

上記組み合わせにより、吸収率が低下する可能性がある。

レボフロキサシン以外にも、金属カチオン含有製剤の影響を受ける薬剤は多い。同時併用を避ける必要がある。

上記薬剤に関しても、レボフロキサシンと同様のコメントが処方箋に印字されるよう随時更新していく。

参考資料

Uptodate

stockley`s drug interaction

Shiba K, et al. : Antimicrob Agents Chemother 1992 ; 36 (10) : 2270-2274

第一三共 HP

各薬剤添付文書